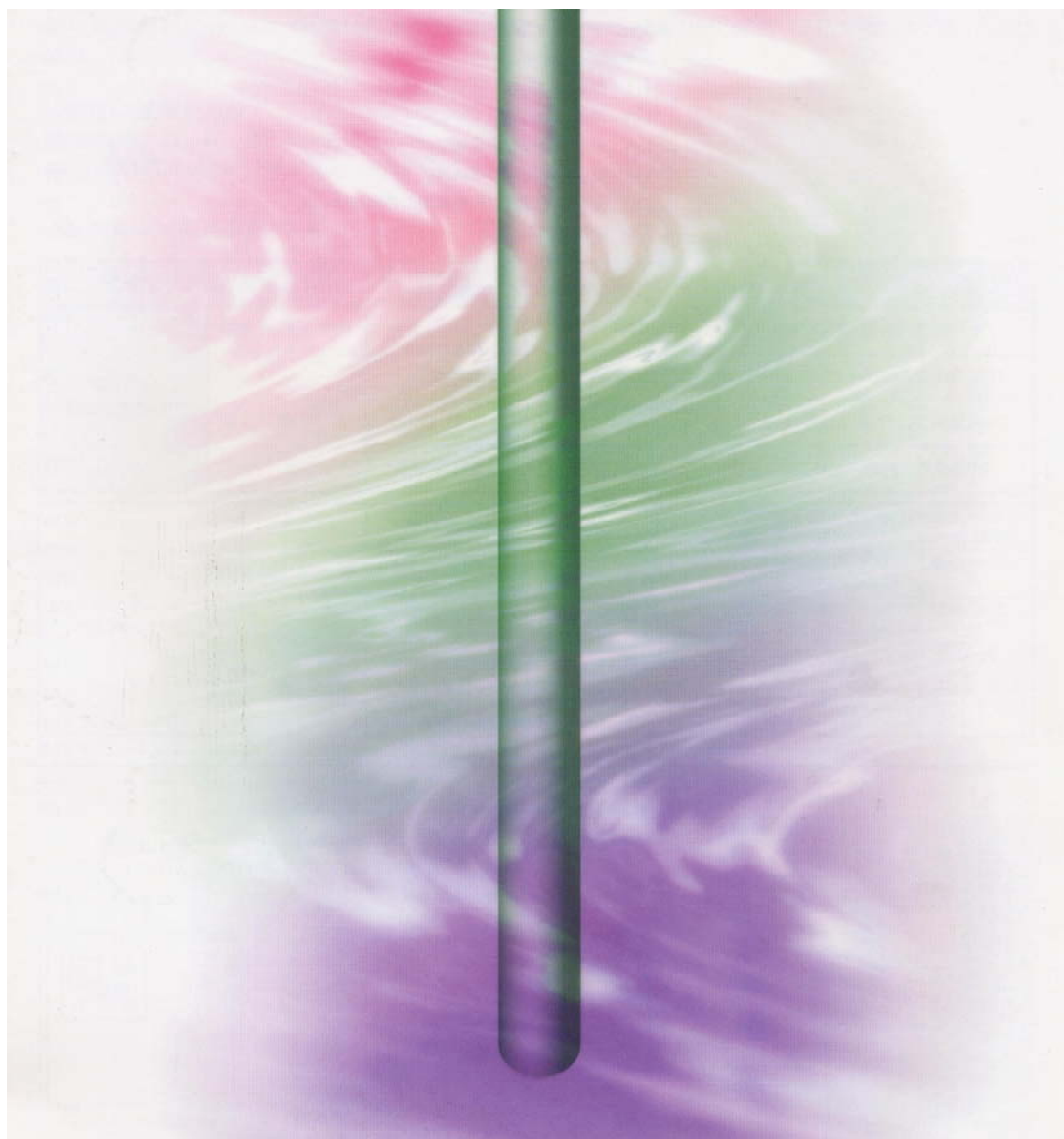


セ ン サ ー

2016年 1月号 第48号

東京温度検出端工業会 会報



年頭雑感

2016年1月

会 長 林 正 樹

会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。本年も会の運営にご理解とご協力の程、お願い申し上げます。

昨年は国の内外で大きな出来事がありました。国内では大手企業による会計不正による利益の水増しや、マンション等の建造物の杭打ちの偽装が発覚致しました。海外ではドイツ自動車メーカーによる、排ガス規制を逃れるための大がかりな偽装が発覚する大スキャンダルが起きました。これらは企業のモラルはどこへ行ったのだろう、と思わせる事件でした。またパリではイスラム国によるテロ事件が2度ありました。

また2020年の東京オリンピックのメイン会場となる新国立競技場の建設費が当初予定の2倍以上になることが判明、そもそもオリジナルのデザインでは、巨大なアーチの建設そのものが難しいという問題が出てきて、その後、オリジナルのデザインの規模を縮小しましたが、それでも難しいということで一旦ご破算、新たにコンペを行ってやっと決着するという迷走がありました。ただオリジナルのデザイン事務所からは新たに決まったデザインの観客席の設計がオリジナルのものとそっくりであり、盗用されたので裁判を起こすと言われており、まだ完全な決着とはいかないようです。五輪エンブレムも盗用疑惑が持ち上がり、一旦決定したものが取り消しになり、再度一般から広く公募してコンペが行われています。このようなことをやっつけて果たして東京オリンピックはうまくいくのか、はなはだ心配になってきます。

以上はネガティブな事ばかりですが、昨年あった嬉しいことの一つは、一昨年に続いてノーベル賞の受賞者が出たことです。特に生理学・医学賞を受賞された大村智博士が発見した微生物から作られた薬は、当初の目的であった家畜を寄生虫から守るだけでなく、アフリカの多くの人を寄生虫が原因で起こる風土病から守り治療するという、素晴らしいものです。しかも大村博士は研究だけでなく、研究室から多くの博士を輩出するという教育面や、倒産寸前に陥っていた研究所を種々の改革によって無借金経営に建て直すという経営面等、多彩な才能を発揮されております。今回、受賞の対象となった薬も、最初、製薬会社からは微生物の菌株を3億円で売って欲しいとの要請があり、研究所の理事会でもその要請に賛成の意向だったのを、大村博士はこの発見の価値はとてもそんなものではない、ということに気づいており断固反対、結局売り上げに応じて特許料を支払う形での契約となったそうです。その結果、これまでに研究所に支払われた特許料の総額は200億円以上とのことで、そのビジネスセンスの素晴らしさを窺い知ることができます。

一方で故郷の山梨県に科学技術振興のために、「山梨科学技術アカデミー」を創設して科学技術の普及と人材育成に努めたり、また実家に隣接した土地に韮崎大村美術館を建設して韮崎市に寄付しています。この美術館は女流作家の作品を中心に展示している美術館で、上村松園、小倉龜龜、片岡球子らの作品がずらりと展示しであるそうです。この美術館のとなりにはこれも大村博士の発

案で作られた温泉施設と蕎麦屋もあって、絵画鑑賞の後温泉に入ってリラックスして、お腹がすいたらおそばを頂くことも出来るようになっているそうです。機会があれば是非一度行ってみたいものです。

話題はがらりと変わりますが、英国で開催されたラグビーW杯で日本代表が強豪国の南アフリカを破ったことも痛快なことでした。終了間際 3 点負けていて、同点のペナルティゴールを狙わず、トライを取りにいった最後左隅にトライしたシーンは、何回見ても胸がすく思いがします。大会が始まる前は、過去に 1 勝しかしていないし、同じ強豪国のニュージーランドには 100 点以上の大差で負けたこともあるし、と全く期待していなかったものですから、南アフリカ戦の TV 中継が深夜だったこともあり、歴史的瞬間を見過ごして、翌朝ニュースで見て、本当に驚きました。残念ながら今回は予選を突破できませんでしたが、4 年後の日本で開催されるラグビーW杯では、それまでに更にチームを強化して、予選を突破、ベストエイトまで、勝ち残って欲しいものです。

今年は申年でいろいろ大きな出来事がある年といわれており、中国経済の減速が鮮明となったこともあり、年初から株安・原油安と波乱の幕開けとなっております。また今年秋には米国大統領選があり、イスラム国や不法移民に対して超過激な発言で当初、泡沫候補と思われていた共和党のトランプ候補が、次第に存在感を増してきております。トランプ氏がアメリカ合衆国大統領になったら世界はどういうことになるのか、一寸想像がつかないですが、果たしてどうなるのでしょうか。

最後になりますが、会員会社の今年一年の益々のご発展と、皆様のご健勝を祈念申し上げます。

会員紹介

助川電気工業株式会社

助川電気は、“世にない技術への挑戦”をテーマに広く産業界に貢献している会社です。

1949年創業以来一貫して「熱と計測」に取り組み、第1号製品としてのシーズヒーターを完成させ、シーズ熱電対の初国産化、細径型ヒータの決定版マイクロヒータ、遠赤外線乾燥装置の開発と、その使命を着実に実現し、産業界に貢献してまいりました。

また、原子力関連製品では、原子力発電実験用の模擬燃料集合体、ナトリウム等の高温液体金属を連続的に測定できる液面計、電磁ポンプ、電磁流量計、その他各種実験装置の製作等があります。

そして今、真空技術を生かし半導体製造装置のニーズにも対応し、技術の伝統はエネルギー、エレクトロニクス、バイオテクノロジー等へと引き継がれています。

取締役製造本部長 久保木孝和

本社事務所 〒318-0004 茨城県上手綱 3333-23

TEL:0293-23-6411 FAX:0293-22-2909

相互電機株式会社

弊社は、工業量である、温度・湿度・露点・CO2 計の開発、設計、製造、販売、修理を行っておりますセンサーメーカーで御座います。

用途としましては、空調、海洋、気象、環境試験装置、プラント、熱処理機器、また同業社様向けのセンサを様々なシーンでご使用頂き、特許取得、申請した製品も多くあり、お客様に喜んで頂いております。

今年で 65 周年を迎え、更に一貫したサービスを提供し続け、新しい事にチャレンジしていくことをお約束致します。

ISO9001 : JCQA-1646 ・ ISO14001 : JCQA-E-0624

横浜地域貢献企業・横浜知財みらい企業

代表取締役社長 荻野 伸夫

〒 224-0054 横浜市都筑区佐江戸町 186

TEL : 045-934-6554・FAX : 045-934-6599

Email : nobsohgo@h9.dion.ne.jp

URL : <http://www.sohgo-denki.co.jp/>

田中貴金属工業株式会社

明治 18 年の創業以来、貴金属をベースとした工業用貴金属製品の製造・販売・輸出及び貴金属の回収・精製を行っています。2009 年に「ロンドン・プラチナ・パラジウム・マーケット」の公認溶解業者を審査する「公認審査会社（グッド・デリバリー・レフリー）」に任命され、貴金属に関する分析技術や審査力に日々磨きをかけています。

鉄鋼やガラス製造など高温領域での温度測定に使用される貴金属熱電対について各種 JIS 規格製品を取り揃えています。また、使用済となった熱電対を精製し、再度熱電対として提供も行っています。

近年、強化白金材を採用した「TEMPLAT」熱電対を開発しました。従来品と比較して、断線を防止し製品寿命の延長を図ることが可能となりました。

代表取締役社長執行役員 田苗 明

〒 100-6422 東京都千代田区丸の内 2-7-3

東京ビルディング

TEL 03-6311-5511

<http://www.tanaka.co.jp>

会の動き

- ◎平成 27 年 2 月 27 日 新春講演会 …… 参加者 29 名（16 社・団体）
会場：TKP 東京駅八重洲カンファレンスセンター
内容：情報化と製造業をとりまく国際標準化の動向
講師：若狭 裕氏
- ◎平成 27 年 2 月 27 日 新春懇親会 …… 参加者 33 名（18 社・団体）
会場：咲くら（京橋店）
- ◎平成 27 年 6 月 5 日 第 41 回定時総会及び懇親会 …… 参加者 23 名（13 社・団体）
会場：TKP 東京駅八重洲カンファレンスセンター
議題①第 41 期事業報告及び収支決算報告
②第 42 期事業計画案及び収支予算案審議
- ◎平成 27 年 9 月 3 日 第 61 回技術懇談会 …… 参加者 22 名（11 社・団体）
会 場：東京都立産業技術研究センター本部
内容①：新規導入設備見学
内容②：温度標準の現状について
講 師：斉藤 尚子氏（JEMIC）
- ◎平成 27 年 11 月 12 日 一日見学会 …… 参加者 13 名（7 社・団体）
見学先：①新江東清掃工場
②ガスの科学館

一日工場見学会報告

林電工株式会社 青木 敏男

東京温度検出端工業会の一日見学会が、2015 年 11 月 12 日に開催されました。

午前中は、東京都新江東清掃工場を見学し、午後からは、ガスの科学館を見学しました。

東京都新江東清掃工場は、タクマ社のストーカー炉が 3 基あり、一日当たり最大 1,800 トン／日のゴミ焼却能力があり、これは日本最大級の清掃工場となるそうです。昨年度実績では、40 万 2 千トンのゴミを焼却されたそうです。

プラント立上げ時には、都市ガスを利用してゴミを燃やし始めるのですが、通常運転状態ではゴミだけで燃え続けるそうです。いったん燃え始めるとゴミを投入し続けるだけで、ダイオキシンが発生しにくいと言われる 800℃以上の温度で、24 時間燃え続けているのには、驚かされました。そのためには、ゴミの燃焼カロリーを一定にするために、ゴミを貯留しているゴミバンカという場所でゴミを攪拌したあと、焼却炉に投入しています。やはりそれでも、生ゴミが多いと温度が下がり、プラスチック系のゴミが多いと温度が上がるそうです。

午後からは、東京ガスが運営されている、ガスの科学館を見学しました。子供達にガスをより身近に感じられるような展示、省エネが重要である事を伝える展示に力を入れられているようでした。通常の見学コース以外に、同館で使用されている、コージェネシステムを間近で見学し、説明を受ける事が出来ました。コージェネシステムは、富士電機製と明電舎製の大型が2機、パナソニック社の家庭用が1機ありました。

東京温度検出端工業会の見学なので、最後に温度センサについて、お伝えしたいと思います。

新江東清掃工場では、残念ながら温度センサの設置場所を見学出来る機会はありませんでした。午後からのガスの科学館では、2ヶ所温度センサの設置されているのを見学出来ました。ひとつは、入館後、一番初めに目が付く気球内にありました。ガスで空気を暖めて気球を上昇させる展示なのですが、気球内の温度計測に温度センサが設置されていました。気球内の空気温度が一定温度以上になったタイミングで、気球を固定しているストッパが外れ、気球を上昇させる展示に温度センサが使われていました。もうひとつは、コージェネシステムの温水配管に、温度センサが2本設置されていました。設置場所は、配管がちょうど90度に曲がっている場所でした。挿入深度が取りやすそうな、且つ外部露出部が少ない、誤差が小さくなる設置をとられていました。

末筆ながら、今回このような機会を与えて頂きました、関係者の方々にこの場をお借りして、心より御礼申し上げます。



新江東清掃工場

ガスの科学館

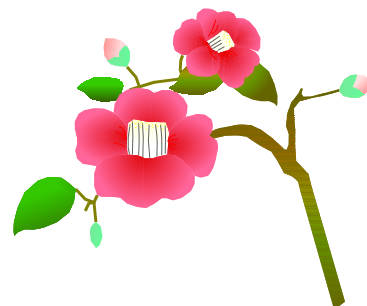
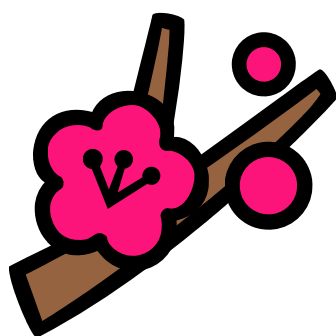


編集後記

新年明けましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

今年ブラジルのリオデジャネイロでオリンピックが開催されます。テロや事故等なく、出場選手が持てる力を発揮できる安全な大会であってほしいと思います。

そして今年一年が皆様にとって健康に恵まれ、業績も上向く年になりますよう心よりお祈りいたしております。



平成 28 年 1 月 発行 No.48

発行所 東京温度検出端工業会

事務局

〒 113-0021 東京都文京区本駒込 6-5-5

林電工 株式会社 内

電話 03-3945-3151

FAX 03-3945-3130